

# 2008年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

## 学科試験 問題

(学部・研究留学生)

## 日本語 (A)

注意 ☆試験時間は60分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語 (A)

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I つぎの ( ) にはいる いちばん いい ものを A~Dから ひとつ えらびなさい。こたえは、こたえの かみに A、B、C、Dで かきなさい。

(れい) わたしは まいあさ しんぶん ( ) よみます。

( A が B と C を D へ

1 まち ( ) かいものに いきましょう。

A と B で C へ D を

2 この バスは どうきょう ( ) きょうとまで いきます。

A だけ B へ C から D で

3 わたし ( ) かいだ さくぶんを よんでください。

A で B や C は D の

4 ドア ( ) しまるとき、おおきな おとが します。

A が B に C で D を

5 いま きょうしつには だれ ( ) いません。

A が B も C か D は

6 あなたの シャツは わたしの ( ) おなじです。

A と B を C に D へ

7 すずきさんは うた ( ) じょうずです。

A に B で C を D が

- 8 「どれ ( ) あなたの ぼうしですか。」 「この 黒いのです。」  
A を B は C が D に
- 9 わたしは きのう いちにち ( ) べんきょうしました。  
A ちゅう B じゅう C ごろ D とき
- 10 まいにち がっこうまで でんしゃ ( ) いきます。  
A と B に C を D で
- 11 「この りんごは いくらですか。」 「みつつ ( ) 200えんです。」  
A で B に C を D の
- 12 わたしの あには にほんじん ( ) けっこんしました。  
A を B に C と D で
- 13 はやく くるま ( ) のってください。  
A を B に C の D が
- 14 おおきな とりが そら ( ) とんでいます。  
A を B で C が D に
- 15 「あなたの たんじょうびは なんにちですか。」 「9がつ ( ) です。」  
A じゅうにち B じゅうつたち  
C じゅうふつか D じゅうさんにち
- 16 あなたは おんがく ( ) すきですか。  
A を B が C に D で

II つぎの ( ) に はいる いちばん いい ものを A~Dから ひとつ えらびなさい。こたえは、こたえの かみに A、B、C、Dで かきなさい。

(れい) わたしは いま ほんを ( ) います。

A よみます B よんで C よんだ D よみ

1 わたしは あした きょうとへ ( )。

A いきました B いきませんでした  
C いきます D いきませんか

2 「ペンを ( )。」 「はい、どうぞ。」

A かしてください B かさないでください  
C かすでしょう D かしませんでした

3 にわに しろい いぬが ( )。

A ある B いる C あっている D いている

4 つくえの うえに ほんが おいて ( )。

A ください B くださいませんか  
C います D あります

5 わたしは まいとし かぜを ( )。

A もちます B おします C なります D ひきます

6 にほんに ( ) まえに、3かげつ にほんごを べんきょうしました。

A きた B こなかった C くる D こない

7 ( ) が、その しょうゆを とってください。

A ごめんなさい B よろしく  
C ごめんください D すみません

- 8 わたしは いま どうきょうに ( )。
- A すんでいます B すみます  
C すみません D すんだ
- 9 わたしは ははに ( )。
- A あいたがっています B あいたいです  
C あいたいでした D あいたがりました
- 10 ちらは せが たかいですが、わたしは せが ( ) です。
- A やすい B ひくい C おそい D すくない
- 11 きのは さむかったですが、せんせいは コートを ( )。
- A きていませんでした B きていないでした  
C きていませんでした D きていないでした
- 12 「あなたは ( ) にほんへ きましたか。」  
「にほんごを ならいたかったからです。」
- A どう B どのぐらい C いくら D どうして
- 13 わたしが へやで ほんを ( )、あねが きました。
- A よむとき B よんでいるとき  
C よみながら D よんで
- 14 テーブルの うえに ( ) ください。
- A すわらなく B すわらないの  
C すわらないで D すわらなくて
- 15 せんせいは いつも ネクタイを ( )。
- A きています B しています  
C はいています D かけています

- 16 「たなかさんは いますか。」 「 ( ) かえりましたよ。」  
A まだ                      B でも                      C もう                      D よく
- 17 きのう いった みせは とても ( )。  
A よかったです                      B よいでした  
C いかかったです                      D いいでした

Ⅲ 次のeメール (e-mail) を読んで、しつもん<sup>こた</sup>に答えなさい。

From: Alex Williams

To: Takako Suzuki

Sent: Sunday, June 25, 2006 8:44AM

Subject: 図書館の本

-----  
鈴木<sup>すずき</sup>さん

アレックスです。

明日の月曜日に、国から両親<sup>りょうしん</sup>が来ます。

それで、私は空港へ出迎え<sup>でむか</sup>に行かなければなりません。

明日は図書館の本を返<sup>かえ</sup>す日ですが、図書館へ行けません。

私が借りた本を明日の5時までに図書館に返してくださいませんか。

もし返してくれるのであれば、今日の夜、鈴木さんの部屋<sup>へや</sup>へ本を持って行きます。

返事を待っています。

問い1 アレックスさんは、明日の月曜日に何をしますか。

- A 空港へ行く
- B 図書館へ行く
- C 鈴木さんに会う
- D 国へ帰る

問い2 アレックスさんは、鈴木さんに明日の月曜日に何をしてほしいと思っていますか。

- A アレックスさんに返事を出してほしい
- B アレックスさんのところへ来てほしい
- C 空港で両親を出迎えてほしい
- D 図書館で借りた本を返してほしい

IV 次の「おしらせ」を読んで、しつもん<sup>しつもん</sup>に答えなさい。

おしらせ

「キャンパスツアー」という大学<sup>だいがく</sup>のたてもの<sup>けんがく</sup>を見学<sup>けんがく</sup>する会が、毎週<sup>まいしゅう</sup>金曜日<sup>きんようび</sup>と土曜日<sup>どようび</sup>にあります。ツアーの最後<sup>さいご</sup>に図書館<sup>としよかん</sup>を見学<sup>けんがく</sup>します。ガイド<sup>ガイド</sup>をする人が、図書館<sup>としよかん</sup>の使い方<sup>かた</sup>を教えてくださいますので、これから図書館<sup>としよかん</sup>を使う人<sup>ひと</sup>や本<sup>ほん</sup>を借りたい<sup>かか</sup>と思っている人<sup>ひと</sup>は参加<sup>さんか</sup>してください。なお、見学<sup>けんがく</sup>の時は、図書館<sup>としよかん</sup>の本<sup>ほん</sup>を借りることはできません。

ツアーに参加<sup>さんか</sup>したい人は、ツアーのある前<sup>まえ</sup>の日<sup>ひ</sup>までに、図書館<sup>としよかん</sup>1階<sup>かい</sup>のインフォメーションカウンター<sup>カウンター</sup>で申し込み<sup>しんじこ</sup>をしてください。

ツアーに参加<sup>さんか</sup>できない人は、ガイドなし<sup>なし</sup>の見学<sup>けんがく</sup>がいつでもできます。これは、30分<sup>みんか</sup>の短い<sup>みじか</sup>ものです。同じカウンター<sup>カウンター</sup>で申し込み<sup>しんじこ</sup>をしてください。

問い1 この「おしらせ」はどんなおしらせですか。

- A 旅行<sup>りょこう</sup>のおしらせ
- B 大学<sup>だいがく</sup>の見学<sup>けんがく</sup>のおしらせ
- C 図書館<sup>としよかん</sup>の休館日<sup>きゅうかんび</sup>のおしらせ
- D コンピュータ<sup>コンピューター</sup>の使い方<sup>かた</sup>のおしらせ

問い2 「キャンパスツアー」の中でできることは何ですか。

- A 30分<sup>えいび</sup>の映画<sup>えいが</sup>が見られる
- B 食堂<sup>しょくどう</sup>で食事<sup>しょくじ</sup>ができる
- C 図書館<sup>としよかん</sup>に入ること<sup>こと</sup>ができる
- D 売店<sup>ばいてん</sup>で本<sup>ほん</sup>を買うこと<sup>こと</sup>ができる

問い3 金曜日<sup>きんようび</sup>と土曜日<sup>どようび</sup>にツアーに参加<sup>さんか</sup>できない人はどうしますか。

- A 図書館<sup>としよかん</sup>のカウンター<sup>カウンター</sup>で申し込む
- B ツアーの1日前<sup>いちひるまえ</sup>に申し込む
- C ガイド<sup>ガイド</sup>の人に申し込む
- D ツアーの30分前<sup>さんじふんまえ</sup>に申し込む



V 次の文を読んで、しつもん<sup>しつもん</sup>に答えなさい。

この町では、毎朝<sup>まいあさ</sup>、じてんしゃやバイク<sup>ちゆうしゃごう</sup>を駐<sup>ちゆう</sup>車<sup>りんじょう</sup>場や駐<sup>ちゆう</sup>輪<sup>りんじょう</sup>場にとめないで、駅<sup>えき</sup>の広<sup>ひろ</sup>場<sup>ば</sup>や道<sup>みち</sup>において学校<sup>がっこう</sup>や会社<sup>がいしゃ</sup>に行く人が多くいます。そのために、駅<sup>えき</sup>に来<sup>き</sup>る人<sup>ひと</sup>や道<sup>みち</sup>をとおる人はとてもこまっています。また、急<sup>きん</sup>にびょうきになった人をたすける救<sup>きゆう</sup>急<sup>きゆう</sup>車<sup>しや</sup>や、火事<sup>かじ</sup>の時<sup>ひ</sup>、火<sup>ひ</sup>をけす消<sup>しょう</sup>防<sup>ぼう</sup>車<sup>しや</sup>などの車<sup>くるま</sup>がとおれなくて、大きな問題<sup>もんだい</sup>になります。

じてんしゃやバイクは生活にとってべんりな乗りものですが、ほかの人がこまらないように、町の中にとめるときには気<sup>き</sup>をつけましょう。

問<sup>と</sup>い1 「駅<sup>えき</sup>に来<sup>き</sup>る人<sup>ひと</sup>や道<sup>みち</sup>をとおる人はとてもこまっています」とありますが、どうしてですか。

- A 多くの人が駅<sup>えき</sup>に来<sup>き</sup>るから
- B 駐<sup>ちゆう</sup>車<sup>ごう</sup>場<sup>ば</sup>や駐<sup>ちゆう</sup>輪<sup>りんじょう</sup>場<sup>ば</sup>が少ないから
- C 急<sup>きん</sup>にびょうきになる人が多いから
- D じてんしゃやバイクが道<sup>みち</sup>においてあるから

問<sup>と</sup>い2 この文を読んだ人は、どんなことに気<sup>き</sup>をつけますか。

- A 病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>の人のたすけ方<sup>かた</sup>
- B じてんしゃのとめ方<sup>かた</sup>
- C 道<sup>みち</sup>のあるき方<sup>かた</sup>
- D 火<sup>ひ</sup>の使<sup>つか</sup>い方<sup>かた</sup>

VI 次の医者が書いた文を読んで、しつもん<sup>いしよ</sup>に答えなさい。

① 最近、人が眠れない理由<sup>ねむ</sup>の一つは、運動<sup>②</sup>をしなくなっていることです。一日中、机にすわって仕事<sup>③</sup>をしている人も多く、また、どこかへ行く時も車で行くことが多く、ほとんど体を動かさなくても生活<sup>④</sup>することができます。

しかし、そもそも睡眠<sup>すいみん</sup>の目的<sup>もくてき</sup>は心と体<sup>つか</sup>の疲れを少なくすることですから、体を動かさなければ、よく眠ることはできません。夏、暑<sup>あつ</sup>くて疲れるからと、エアコンのついた家の中にいたのでは、ますます眠れなくなってしまいます。そして、体の調子<sup>ちようし</sup>が悪くなってしまうでしょう。朝のすずしい時にスポーツをしたり、買い物<sup>⑤</sup>に行ったりして、できるだけ体を使う<sup>⑥</sup>ような生活を送る<sup>⑦</sup>ことがたいせつです。

問い1 この医者は何について書いていますか。

- A 買い物をするところについて
- B スポーツをする時間<sup>じかん</sup>について
- C 生活のし方について
- D 最近の気候<sup>きこう</sup>について

問い2 この医者は、よく眠るために何をするように言っていますか。

- A 運動
- B 仕事
- C 食事
- D 読書

Ⅶ 次の先生が書いた文を読んで、しつもん<sup>しつもん</sup>に答え<sup>こたへ</sup>ない。

みなさんは毎日どんな文を書いていますか。日記<sup>にっき</sup>や手紙<sup>てがみ</sup>、最近<sup>さいきん</sup>では電子メール<sup>でんし</sup>などで文を書く人も多くなっているかもしれませんね。今日は、文を書くときに気をつけることをお話ししたいと思います。

まず、読者<sup>どくしや</sup>、読む人のことを考えて書くことがたいせつです。文を読むのは読者です。したがって、読者のことを考えるのはたいせつなことです。しかし、私たちは読者のことを忘れてしまうことが多いので、気をつけましょう。

次に、私たちが書いた文をだれが読むかを考えましょう。ともだちですか。家族<sup>かぞく</sup>ですか。先生<sup>せんせい</sup>ですか。男性<sup>だんせい</sup>ですか。女性<sup>じよせい</sup>ですか。大人<sup>おとな</sup>の人ですか。こどもでしょうか。多数<sup>たすう</sup>の人でしょうか。たった一人でしょうか。あなたが知らない人<sup>しらないひと</sup>でしょうか。読者をはっきりと考えながら書くと、わかりやすい文が書けます。

次に、読者は作文<sup>さくぶん</sup>のテーマについて何を知っているかを考えましょう。読者は何を知っていて、何を知らないでしょうか。そして、次に何を知りたいと思っているでしょうか。文を書く時は、読者が知っていることから書き始め<sup>はじ</sup>ましょう。読者にまず興味<sup>きょうみ</sup>をもってもらいましょう。「うん、うん、そうだね。」と言わせましょう。

[ ① ] から、少しずつ知らないこと、知らない世界<sup>せかい</sup>へつれて行きましょう。

次に、読者が文を読んだ時、どんな感じを持つかを考えましょう。読者はあなたのその文を読んで、どんな感じや考えを持つでしょうか。そして、あなたの言いたいこと、伝えたいことと、読者の「感じ」はおなじでしょうか。

最後に、文を書くのはあなたです。自分のことを考えるのはとてもたいせつです。でも、自分のことを考えると、いろいろ考えてしまいます。時間がたりないでしょう。でも、実は、そこにこそ、あなたのいいところがあります。あなたは、あなたのままでいいんです。

問い1 本文の「感じ」と同じ意味に近いことばを一つえらびなさい。

- A 聞きたいこと
- B 読みたいこと
- C 話したいこと
- D 思ったこと

問い2 本文の [ ① ] に入る文を一つえらびなさい。

- A 言いたいこと
- B 読みたいこと
- C 知っていること
- D わからないこと

問い3 先生は、この話を聞いた学生に何をしてほしいと思っていますか。

- A 毎日、文を書いてほしい
- B いい文を書いてほしい
- C 自分のことを知ってほしい
- D 作文のテーマを決めてほしい

VIII VIに出てくる、①～⑩の漢字の読み方を、答えの紙にひらがなで書きなさい。

- ① 最近      ② 理由      ③ 運動      ④ 仕事      ⑤ 生活
- ⑥ 心        ⑦ 体        ⑧ 買い物    ⑨ 使う      ⑩ 送る